
「両側慢性硬膜下血腫の CT 所見の特徴とその原因の研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター 研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2013 年 3 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までの間に埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科を受診し頭部 CT にて慢性硬膜下血腫と診断された 20 歳～99 歳までの患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

脳神経外科疾患の中で慢性硬膜下血腫は比較的頻度の高い疾患ですが、なぜこのような血腫が生じるのか解明されていません。また両側性に発生することがありその場合 CT では両側とも同じような血腫になることが多いのですがこれについても解明されていません。患者さんのもつ基礎疾患や内服薬などがこの現象をもたらしていると推察されますが依然として不明な点が多くこの原因を解明することにより将来的に両側慢性硬膜下血腫の発生の予防や治療に役立つ可能性があります。

3. 研究期間

病院長の許可後～2029 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの頭部 CT 結果や診療情報を使用します。

カルテ番号、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報は使用しません。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科において、研究責任者である印東雅大が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

慢性硬膜下血腫と診断された患者さんの過去の CT および診療情報を使用します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

研究責任者：脳神経外科	医師	講師	印東雅大
研究実施者：脳神経外科	医師	助教	吉田信介
脳神経外科	医師	教授	大宅宗一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

5. 試料・情報の提供について

診療情報の提供はありません。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当 脳神経外科 講師 印東雅大

TEL：049-228-3671（直通）

（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：両側慢性硬膜下血腫の CT 所見の特徴とその原因の研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 印東雅大